

# 西端ブロー工業株式会社 社員行動指針

## 社員一人一人が取るべき行動の指針

時代のニーズ「企業の社会的責任（CSR：Corporate Social Responsibility）を果たす観点から、会社がどのような行動を取るべきか、全社員が望ましい行動を実践できるように示したものが「社員行動指針」です。

### （適用範囲）

この行動指針は、西端ブロー工業株式会社に属する全ての役員、社員（会社と雇用関係にある者）を対象とします。

### （報告及び相談）

この行動指針に従って行動する上での疑問や質問、又は、指針に反する行為を発見した場合は、上司若しくは、業務部責任者に報告、相談してください。

### （行動指針に反する行為）

この行動指針にそぐわない行為で、就業規則に定める懲戒事由に抵触する場合には、就業規則に基づき処分を受けることがあります。

### （改廃の手続き）

この行動指針の改廃は、業務部責任者が作成、立案し、社長が承認します。

— 記 —

## I. 西端ブロー工業の一員として

1. 私たちは、西端ブロー工業の一員として、全ての利害関係者の期待に応えられるように、一人一人が社会に果たすべき役割を意識し行動します。
  - 1.1 社会の継続的な発展のために  
「会社は社会の公器」と言われるように、会社は社会の為に存在しています。私たちは、仕事を通じてよりよい社会の実現に向けて貢献します。
  - 1.2 広い視野と見識をもって  
社会の会社に対する見方が厳しくなっている中、また一方で企業のグローバル化による事業範囲の拡大により、「CSR（Corporate Social Responsibility；企業の社会的責任）」を実践し、社会からの期待に応えていくことが重要です。
2. 私たちは、常に「誠実さ」をモットーに行動します。
  - 2.1 私たちは、常に次の視点から判断し、行動します。
    - ・法令や倫理的行動に本当に沿っているだろうか？
    - ・自分が逆の立場だったらどう感じるだろうか？

## II. 生き生きとした職場をめざして

1. 私たちは、生き生きと会社生活を送るため、目標に向かって誠実に仕事に取り組むとともに、自己研鑽に努めます。
  - 1.1 理念や価値観を理解  
私たちは、会社の理念・価値観等をしっかり理解・共有し、目標達成に向けて業務を行います。
  - 1.2 働くことの基本を確実に  
私たちの会社にはいろいろな立場（職位、職務、雇用形態、勤務形態など）の人がいます。立場によって仕事の内容・役割は違いますが、業務を誠実に遂行する精神は皆同じです。私たちは、その形態に関わらず、労働関係法令や就業規則などの会社ルールあるいは指示を守り、職務に専念し、誠実に取り組みます。例えば、競合する他の会社等への兼業、社内における無許可での宗教活動・政治活動など、職務専念の阻害となるような行為は行いません。

2. 私たちは、自分だけでなく職場の仲間も生き生きと働き、幸せや生きがいを感じることができるように、互いを思いやり、尊重します。
  - 2.1 お互いの人権を認め合う  
自分と他人の間には考え方・価値観・信条の違いがあったり、あるいは人種、国籍、性別、年齢、宗教、障害・病気、などの違いがあります。私たちはお互いの人権を尊重し、差別、セクシュアルハラスメントやパワーハラスメント、嫌がらせ等、人権尊重に反する行為や差別を行わず、円滑な人間関係を維持し、よき職場づくりに努めます。
  - 2.2 プライバシーを尊重  
プライバシーを含む個人に関する情報は、その人にとって大切な財産です。それを勝手に他人にもらすことは許しがたい行為です。  
私たちは、会社生活を通して知り得た個人情報に尊重し、もらすことがないように十分に気をつけます。
3. 私たちは、安心して仕事に打ち込めるように、心身の健康維持や安全な作業に努め、安全・衛生が確保された職場環境づくりに努めます。
  - 3.1 心身共に健康で  
身体だけでなく心も健康でないと、それが原因で、職場の仲間や家族関係にも微妙に影響し、辛い思いをすることもあります。  
私たちは、元気にのびのびと仕事をする為に、心身の健康維持・管理と安全な作業に努めます。
  - 3.2 職場環境も健康的に  
職場環境を安全・清潔・健康的に保つため、さまざまな法令や、あるいは、社内で定めたルールがあります。  
私たちは、これらの法令やルールをしっかりと守り、健康的な職場環境作りに努めます。例えば、会社の分煙ルールを守り、互いに不愉快な思いをしない職場環境づくりに努めます。  
又、事故や災害に繋がる要因を把握した場合、その未然防止に努め、万が一事故や災害が発生した場合には、迅速な救護と復旧に努めます。
  - 3.3 秩序や風紀維持も  
私たちは、会社の業務に直接関係のない行為により、秩序や風紀を乱すことはしません。
4. 私たちは、互いに気持ちよく仕事をするため、公私にけじめをつけます。
  - 4.1 公私のけじめはきちんと  
会社のお金で私的な利益を図る行為は明らかな違法行為です。また、社内での物品販売活動等職場の仲間からお願いされると、断りづらいこともあり、場合によってはそれが原因で人間関係が壊れてしまうこともあります。  
私たちは、そのような違法行為や、職場の人間関係を壊すような行為はしません。
  - 4.2 会社の資産は大切に  
私たちは、会社ルールに従って会社の資産や機密情報を大切に取り扱い、管理し、これを私利私欲を満たすために利用しません。例えば仕事で使用する電子メールや電話等は、緊急連絡などの例外的な場合を除き、私的に利用しません。

### Ⅲ. あらゆるお客様の信頼と期待に応えるために

1. 私たちは、一般消費者から得意先に至る全てのお客様と喜びを共有するために、お客様の期待以上の製品を提供できるように努めます。
  - 1.1 真の期待に応えて  
優れた製品を提供することだけに満足しません。その製品を提供している私たち自身が社会から非難を浴びるような行動をとっているとすれば、たとえ製品が優れていたとしてもお客様の心は離れていきます。  
私たちは、製品の品質・性能以外の面でもお客様に満足していただくために、優れた製品の提供はもちろん、社会人としてふさわしい行動を実践します。
  - 1.2 問題には迅速・誠実に対応して  
万一、製品に問題が発生した場合、それ以上お客様に迷惑をかけないため、迅速かつ誠実に対応する必要があります。  
私たちは、お客様との信頼関係を維持するために、製品不良が発生した場合には、現物主義をモットーに、迅速な事実確認かつ必要な対策を実施するとともに、原因を徹底的に追究し再発防止策を講じます。またこの経験を活かし、更に優れた製品の改善・開発を追求していきます。

- 1.3 情報提供はタイミングよく正確に  
私たちは、お客様に製品について正しく理解いただけるように、正確な製品情報の提供に努めます。またお客様から説明を求められた場合には、お客様に理解いただけるまで丁寧に対応します。
2. 私たちは、大手企業を顧客に持つ一員としてふさわしい取引や行動をとります。
  - 2.1 法令遵守は絶対に  
私たちは、グローバル企業のお客様と取引をするにあたっては、日本の関連法を遵守することはもちろんのこと、国際ルールや現地の規則を鑑みニーズに沿った管理をすると共に、顧客の意向を尊重し行動するように努めます
3. 私たちは、開かれた市場経済のなかで事業活動を行う立場にある者として、自由で公正な競争に基づく取引を行います。
  - 3.1 自由で公正な競争に基づく取引のために  
自由で公正な競争を求める市場の厳格さも増しており、万一、これに反する行為を行えば、会社のみならず私たち自身も厳しく罰せられることとなります。こうした環境下、私たちは自由で公正な取引の実践こそが、自らの競争力や持続的成長力、ひいてはお客様からの信頼や期待を勝ち得る条件であることを認識し、行動します。

#### IV. 仕入先との共存共栄を目指して

1. 私たちは、仕入先や協力工場と「よきパートナー」としてあり続けるため、オープンでフェアな取引を行います。
  - 1.1 信頼は「オープンでフェア」な姿勢から  
下請法や不正競争防止法その他の競争法関連法規や、当事者間で取り決めた契約条件等、仕入先や協力工場との関係においても守るべき基本ルールが存在します。  
私たちは、仕入先や協力工場との関係においても、より良い取引関係を築き継続していくため、それらの関連法規や契約条件等をしっかりと遵守します。例えば、
    - ①不公正な条件を突きつけて取引を継続する行為。
    - ②優越的な立場を利用して自分の思い通りに取引を凶ろうとする行為。
    - ③他社から入手した営業秘密を勝手に流用して自己の利益を得る行為など。
  - 1.2 企業間でも節度ある関係で  
私たちは、仕入先や協力工場からの贈答・接待の提供の申し入れに対しては、「一般の商慣習に照らして妥当な範囲であるか?」「法令・倫理道德に照らしても適切な範囲内であるか?」という視点から十分検討し、慎重に行動します。
2. 私たちは、直接取引関係のない企業に対しても、その事業活動を尊重し、正々堂々と競争します。
  - 2.1 「オープンでフェア」の原則を貫いて  
私たちはそれらの企業の事業活動も尊重し、オープンでフェアな態度で自らの事業活動を推進します。例えば次のような行為は行いません。
    - ①他社製品を模倣して自己の利益を得る行為
    - ②他社への誹謗・中傷や他社製品に関するウソの情報を流すような行為
    - ③他社の営業秘密を盗み出して利用する行為など
  - 2.2 知的財産権を相互に尊重して  
知的財産はすべての企業にとって、非常に重要な財産であることには違いありません。  
私たちは、他社の知的財産権を尊重し、権利侵害しないように十分留意します。

## V. 株主の期待に応えるために

1. 私たちは、長期的安定的な企業存続を目指して、資産を効率的に活用して事業の継続、利益確保に努めます。
  - 1.1 会社資産を適正に運用して  
私たちは、会社の資産を適切に管理するとともに、最大限に活かすことで長期的利益の向上に努めます。
  - 1.2 リスク発生の未然防止に責任をもって  
私たちは、リスク発生により会社の企業価値が低下することがないように、自分の仕事で発生しうるリスクを念頭に置き、日頃からリスクの未然防止を心掛けます。万一リスクが発生しても、痛手を最小限にとどめるため、職場の仲間や関係部署と連携して適切に対処します。
2. 私たちは、健全性を大事にする事業活動を担う一員として、一人ひとりが責任を持って「誠実」に資産を利用・管理します。
  - 2.1 会計処理はすべて適正に  
私たちは、法令や社内ルールを守り、会計処理・棚卸等は適正に行い、正確に報告します。

## VI. 社会と共生するために

1. 私たちは、地球環境保護・保全に役立つ行動に賛同します。
  - 1.1 環境にやさしく  
私たちは法令を遵守する事はもちろん、社会共通の課題となっている環境問題（温暖化、生物多様性、資源枯渇、廃棄物問題等）に十分配慮して、製品設計、製造業務を行います。また、各職場におけるゴミの低減やリサイクル、省エネ等にも進んで考慮します。
2. 私たちは、より良い暮らし・豊かな社会づくりに向けて、社会貢献に関わるように努めます。
  - 2.1 地域社会の一員として  
私たちは、社会貢献活動の重要性を理解します。色々な社会の課題解決に関心を持ち、協力します。
3. 私たちは、仕事か私生活を問わず、常に社会的常識・良識に従った行動を取ります。
  - 3.1 反社会的勢力には毅然として  
私たちは、反社会的勢力・団体に対しては毅然とした態度で臨み、一切の関係を遮断します。例え不当な要求を受けた場合でも、屈せず、警察等と連携して、解決を図るよう努めます。
  - 3.2 政治や行政等とは節度ある関係で  
政治や行政との関わりでは、贈答や接待、献金・寄付行為は法律で厳しく規制されています。私たちは、法令を遵守し、又、誤解されるような行動も慎み、健全な関係を保ちます。万が一何か請求されたとしても、一切応じません。